

齋藤 修（さいとう おさむ）のプロフィール

経歴 1951年 埼玉県八潮市生まれ。千葉大学園芸学部を経て
東京大学大学院農学研究科博士課程修了（農業経済学）
1981年 広島大学助手、助教授（生物生産学部）
1984年 農学博士（東京大学）
1992年 広島大学教授
1997年 千葉大学教授（園芸学部）
2016年から 千葉大学名誉教授・昭和女子大学客員教授(~2022)

現在の主な社会活動： 農林水産省食料・農業・農村審議会専門委員、日本フードシステム学会会長（4期8年）、内閣府総合科学技術会議専門委員、農林水産省国立研究開発法人審議会会長(3期6年)を歴任。日本フードシステム学会顧問、有機中央会（JAS 有機認証団体）理事長、地域フードシステム戦略研究会会長。和郷園（千葉県）、野菜くらぶ（群馬県）、マルタ（全国）、クラブコア（茨城県）、増野（長野県）など法人等の顧問

研究活動： 農業経営学から流通やフードシステムへと研究領域を拡大、生産から加工、流通、消費に至るフードシステムの研究。現在、6次産業、農商工連携、バリューチェーン、医福食農連携、JAの販売戦略、フードチェーンと地域再生・イノベーション、プラットフォームづくりと地域マネジメントなどを研究している。

学会賞： 日本農業経済学会賞(1987年)、日本農業経済学会学術賞（2000年）、日本フードシステム学会学術賞（2008年）日本フードシステム学会功績賞（2018年）

著書： 齋藤修「果実のフードシステムと産地の戦略」農林統計出版、2023

齋藤修「食農と林業のバリューチェーン」農林統計出版、2021

齋藤修編「フードバリューチェーンの国際的展開」農林統計出版、2020

齋藤修・高城孝助編「医福食農の連携とフードシステムの革新」農林統計出版、2018

齋藤修「フードシステムの革新とバリューチェーン」農林統計出版、2017

齋藤修編「日本フードシステム学会の活動と展望」農林統計出版 2016

齋藤修監修・佐藤和憲編「フードシステムの革新のニューウェーブ」日本経済評論社、2016

齋藤修・佐藤和憲編「フードチェーンと地域再生」農林統計出版、2014

齋藤修・金山紀久編「十勝型フードシステムの革新」農林統計出版、2013

齋藤修・松岡公明編「JAのフードシステム戦略」農文協、2013

齋藤修・下渡敏治・中嶋康博編「東アジアフードシステムの成立条件」農林統計出版、2012

齋藤修「地域再生とフードシステム」農林統計出版、2012

齋藤修「農商工連携の戦略」農文協、2011

齋藤修編「地域ブランドの戦略と管理」農文協 2008

齋藤修「食料産業クラスターと地域ブランド」農文協、2007 など

単著9冊、編著18冊で合計27冊